

# 重点プロジェクト

1. 広尾の魅力発信プロジェクト  
～広尾の魅力や情報が集まる拠点の創出～ . . . . . 135
2. 「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト  
～新たな魅力の創出と今あるものの魅力の再発見～ . . . . . 137
3. 「サンタランド」の魅力向上プロジェクト  
～ここにしかない「サンタランド」の魅力に磨きをかける～ . . 139
4. ひろお子育て力向上プロジェクト  
～地域みんながお父さん、お母さん～ . . . . . 142
5. 自分大好きプロジェクト  
～関わり、交わり、認めて、育てる 地域の宝～ . . . . . 145
6. 「賑わいと健康」創出プロジェクト  
～豊かな自然の中で、健康増進と体験型観光を楽しむ～ . . . 147
7. 買い物利便性向上プロジェクト  
～誰もが町内で買い物しやすい環境をつくる～ . . . . . 149
8. 空き家再生プロジェクト  
～空き家を徹底的に活用し、人が集まる場をつくる～ . . . . . 152



# 第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7）

## 重点プロジェクト 進捗状況確認シート

作成年月 R 4 年 11 月

<b>重点P</b>	<b>1</b>	<b>広尾の魅力発信プロジェクト ～広尾の魅力や情報が集まる拠点の創出～</b>
<b>担当課</b>	<b>企画課、水産商工観光課、農林課</b>	
<b>目標</b>	<b>日本で一番、また来たくなるまちをめざす！</b>	

### 1. 方向性

広尾町の特産品やサンタランドの魅力などをつめこんだ拠点（観光交流施設）をつくる。飲食、情報、物が集約され、町外客だけでなく、子どもから高齢者まで多くの町民が集い楽しむ場所とする。また、町民による地域内消費も喚起する。

### 2. 概要

町外客が、特産品を買い求めたり、様々な情報を得たり、食事や飲み物を味わい、くつろげる場を提供することにより、「また来たくなるまち」をめざす。加えて、町民の利用を想定し、複合的な要素を盛り込んだ拠点としての機能を併せ持つ施設をめざす。（例：本×カフェ×パン×子供の遊び場×コンビニなど）

### 3. 具体的な方法

主な事業・取組	町外の人や町民の交流拠点となる、特産品を販売する施設をつくる（ねらい）まちの中心部に人を集める			R3(2021)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	観光交流施設建設事業	実	重点-1	担当課	企画課
細事業名Ⅱ	地域「食資源」活用促進事業	実	重点-3	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ	集いの杜プロジェクト	実	1-1-③-41	担当課	農林課
R3(2021)年度実施内容	(Ⅰ)未実施 (Ⅱ)令和4年度からの事業実施に向け、予算措置や地域おこし協力隊の新規募集など準備を行った。 (Ⅲ)旧野塚小学校を再生し、広尾町の林業を主体とした一次産業の体験や自然とふれあうことができる場を創出する。また、サンタランドウツのPRや製品製造の拠点とし、新たな産業や教育文化の振興を図る。				
進捗状況と課題	(Ⅰ)令和3年度に着手した公園整備構想において公園敷地内に観光交流施設を併設する方向性となり、同構想の中でレイアウト等を検討中である。令和5年度以降、施設の規模や機能について関係機関とも協力し、検討を進める考えである。また、「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクトによる商品開発の動きとも連携を図りながら、魅力ある拠点づくりに努めていく。【企画防災係】 (Ⅱ)公園整備構想における観光交流施設の検討を行って行く中で、「食資源開発、伝承プロジェクト」で生み出される特産品の活用などについて連携を図る。【商工観光係】 (Ⅲ)令和3年度に計画策定、令和4～5年度で予算化及び改修工事を実施。地域おこし協力隊を3名雇用する（令和3年度は1名）。【農政林務係】				

### 4. プロジェクトの評価（担当課における評価）

Ⅰ：プロジェクトの達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・公園整備との兼ね合いで、建設年度が1年先送り（R8年度からR9年度へ）になる見込みである。（企画課長） ・地域おこし協力隊を中心とした各課及び関係機関の連携により、想定どおりに進んでいると評価できる。（農林課長） ・食資源プロジェクトは次年度のスタートに向けて進められている。（水産商工観光課長）
農商	B 想定どおりに進んでいる		
企	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

Ⅱ：プロジェクトの有効性（プロジェクトにかかる事業の構成や規模は適切であったか、成果は有効であったか）

	A 有効であった	評価理由	・プロジェクト未着手により、現時点で有効性の評価は不可能である。（企画課長・水産商工観光課長） ・計画策定段階であり、評価不可能。（農林課長）
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※プロジェクトの達成度、有効性の評価理由は、プロジェクト全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

## 5. プロジェクトの総合評価

広尾の魅力発信 重点P①	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C				
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C				
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C					

### 評価の区分

- A 達成度、有効性、成果が大いに認められ、目標達成に向け順調に進んでいる。
- B 事業が概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- C 結果が表れていないが、目標達成に向け取組を進めることができている。
- D 事業の進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- E 達成度、有効性が見られず、取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

## 第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7）

### 重点プロジェクト 進捗状況確認シート

作成年月 | R 4 年 11 月

<b>重点P</b>	<b>2</b>	<b>「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト ～新たな魅力の創出と今あるものの魅力の再発見～</b>		
<b>担当課</b>	<b>水産商工観光課、農林課、健康管理センター</b>			
<b>目 標</b>	<b>日本で一番、食べ物がおいしいまちをめざす！</b>			

#### 1. 方向性

広尾町の食資源の優位性（水産物：漁場が近いため鮮度が良く、魚種が豊富なこと。農畜産物：良質な生乳を生産していることなど）を活かした新たな特産品を開発するとともに、町の食文化を次世代の町民に伝承し、食べ物がおいしい町としての知名度を上げる。

#### 2. 概要

広尾町の水産物や農畜産物を原料とした新たな特産品を開発し、商品化・ブランド化を図ることにより、食資源の豊富さや質の高さをアピールするとともに、広尾町の食文化（魚を使った漬物、保存食など）を次世代の町民に伝承することで、地域の食文化を守り、広尾町の食の魅力を町内外に伝え広める。

#### 3. 具体的な方法

<b>主な事業・取組</b>	新たな特産品(加工品)や鮮魚をブランド化した商品を開発し、観光交流施設での販売、飲食店での提供、ふるさと納税の返礼品などで幅広く活用する。	<b>R3(2021)年度実績額</b>	0千円
<b>細事業名Ⅰ</b>	地域「食資源」活用促進事業	実	重点-3   担当課   水産商工観光課
<b>細事業名Ⅱ</b>		実	担当課
<b>細事業名Ⅲ</b>		実	担当課
<b>R3(2021)年度実施内容</b>	プロジェクトチーム発足に向け、予算措置や地域おこし協力隊任用に向けた準備を行った。		
<b>進捗状況と課題</b>	上記実施内容とともに、実施主体である観光協会の各種会議で会員に対し周知した。令和4年度のプロジェクトチーム発足後、本格的に事業実施となる。【水産商工観光課】		

<b>主な事業・取組</b>	広尾の食文化を伝承する料理講座を定期開催する。	<b>R3(2021)年度実績額</b>	0千円
<b>細事業名Ⅰ</b>	食資源伝承に資する食育教室	実	担当課   健康管理センター
<b>細事業名Ⅱ</b>		実	担当課   水産商工観光課
<b>細事業名Ⅲ</b>		実	担当課
<b>R3(2021)年度実施内容</b>	※未実施		
<b>進捗状況と課題</b>	(Ⅰ)ピロロツーリズム推進協議会と連携し、魚のさばき方などを体験する事業を実施予定。地元食材を活用し、調理、加工等する技術を農業漁業関係者から直接学ぶことにより、食文化の継承への理解や関心の高まりが期待できる。【保健推進係】 (Ⅱ)プロジェクトチーム発足後、健康管理センターと連携した上で開催する。【商工観光係】		

#### 4. プロジェクトの評価（担当課における評価）

I：プロジェクトの達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

	A 想定以上に進んでいる	評価理由	・事業実施に向けた準備の年度であり、次年度につながるよう進んでいると思われる。（水産商工観光課長） ・令和4年度の事業実施に向けて、関係機関と内容を検討している。（健康管理センター長）
水健	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：プロジェクトの有効性（プロジェクトにかかる事業の構成や規模は適切であったか、成果は有効であったか）

	A 有効であった	評価理由	本格的に事業実施とはなっておらず、成果は出ていない。（水産商工観光課長・健康管理センター長）
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※プロジェクトの達成度、有効性の評価理由は、プロジェクト全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

#### 5. プロジェクトの総合評価

「 開発、伝承」 重点P② 広尾の食資源」	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	一次評価（担当課の評価）					
	C					
	二次評価（主管者会議の評価）					
	C					
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
C						

#### 評価の区分

- A 達成度、有効性、成果が大いに認められ、目標達成に向け順調に進んでいる。
- B 事業が概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- C 結果が表れていないが、目標達成に向け取組を進めることができている。
- D 事業の進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- E 達成度、有効性が見られず、取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

## 第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7）

### 重点プロジェクト 進捗状況確認シート

作成年月 | R 4 年 11 月

<b>重点P</b>	<b>3</b>	<b>「サンタランド」の魅力向上プロジェクト ～ここにしかない「サンタランド」の魅力に磨きをかける～</b>
<b>担当課</b>	<b>水産商工観光課、企画課</b>	
<b>目 標</b>	<b>日本で唯一、サンタランドの魅力にあふれるまちをめざす！</b>	

#### 1. 方向性

「サンタランドのまち」が国内唯一であることの価値を町民が再認識し、まちぐるみでみんなが楽しめるような取組を通じ、「サンタランド」を楽しみ、その魅力に磨きをかける。

#### 2. 概要

既存のサンタランド事業を継続し、内容を充実させて発信力を強化するとともに、話題性のある取組を新たに企画し、まちぐるみで取り組むことにより、サンタランドの魅力や精神、イメージを町内外にアピールする。また、写真映えするシンボルスポットを整備するなど、中高生・若者の興味を惹くような取組を織り交ぜ、サンタランドの魅力をさらに向上させる。

#### 3. 具体的な方法

主な事業・取組	既存事業（サンタメール、点灯式、ウェルカムサンタランドなど）は内容を充実させて魅力を高めるとともに発信力をさらに強化する。（例：新たに大人向けのサンタメールを作るなど）	R3(2021)年度実績額	8,927千円		
細事業名 I	サンタランドの魅力向上プロジェクト	実	重点-4	担当課	水産商工観光課
	（イルミネーション事業）	実	1-2-②-28	担当課	
	（サンタランドツリー点灯式）	実	1-2-②-28	担当課	
	（広尾町北方圏交流振興会事業）	実	1-2-②-28	担当課	
R3(2021)年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までのサンタメールは「ひろおサンタカード」と改称し、カード本体の刷新も行った。</li> <li>・ツリー点灯式は新型コロナ感染拡大防止のため無観客とし、動画生配信の形式で行った。</li> <li>・サンタランドホームページをリニューアルし、SNSを活用しながらサンタカードの申込み件数増加を図った。</li> </ul>				
進捗状況と課題	既存事業については内容を刷新し、特にサンタカードの申込み通数増加につながった。【サンタランド係】				

主な事業・取組	若い世代の興味を惹く撮影スポットを創る。（例：イルミネーションの森の創設、サッポロファクトリー規模のジャンボツリーの設置など）	R3(2021)年度実績額	6,828千円		
細事業名 I	サンタランドの魅力向上プロジェクト	実	重点-4	担当課	水産商工観光課
	（イルミネーション事業）	実	1-2-②-28	担当課	
		実		担当課	
		実		担当課	
R3(2021)年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イルミネーションの配色や電球の付け方などを改善した。</li> <li>・農林課主体によるサンタランドウッドランタンのアーチトンネルを制作した。</li> </ul>				
進捗状況と課題	令和2年度設置のメインツリーやジャンボツリーに加え、イルミネーションの刷新やウッドランタントンネルの登場により話題性の向上につながったといえる。【サンタランド係】				

主な事業・取組	町民が一丸となって取り組むことができる話題性のある事業を実施する。(例:クリスマスイヴの日に、町内の事業所の人全員クリスマスのコスチュームで仕事をするなど)	R3(2021)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R3(2021)年度実施内容	※未実施		
進捗状況と課題	プロジェクトチームの設立により町民の取組を検討する必要がある。【サンタランド係】		

主な事業・取組	サンタランドのオリジナル商品を作成する。(町民や町外の方のアイデアを取り入れたり、デザインを募集したりする)	R3(2021)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R3(2021)年度実施内容	大丸山森林公園「サンタの家」を指定管理事業者に委託し、商品開発まで行える体制を整えた。		
進捗状況と課題	指定管理事業者による商品開発のほか、プロジェクト会議による検討が必要となる。【サンタランド係】		

#### 4. プロジェクトの評価 (担当課における評価)

I:プロジェクトの達成度 (まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか)

	A 想定以上に進んでいる	評価理由	プロジェクトチームの設立まで至っていない状況であり、町内の気運を高める取組みに着手できていない。(水産商工観光課長)
	B 想定どおりに進んでいる		
○	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II:プロジェクトの有効性 (プロジェクトにかかる事業の構成や規模は適切であったか、成果は有効であったか)

	A 有効であった	評価理由	サンタカードやイルミネーション、またホームページの刷新により話題性が向上し、特にサンタカードの申込み通数が伸びた。(水産商工観光課長)
○	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※プロジェクトの達成度、有効性の評価理由は、プロジェクト全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

#### 5. プロジェクトの総合評価

「サンタランド」の魅力向上重点P③	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
	一次評価 (担当課の評価)				
	B				
	二次評価 (主管者会議の評価)				
	B				
外部評価 (まちづくり推進計画委員会による評価)					
B					

#### 評価の区分

- A 達成度、有効性、成果が大いに認められ、目標達成に向け順調に進んでいる。
- B 事業が概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- C 結果が表れていないが、目標達成に向け取組を進めることができている。
- D 事業の進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- E 達成度、有効性が見られず、取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

## 第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7）

### 重点プロジェクト 進捗状況確認シート

作成年月 | R 4 年 11 月

<b>重点P</b>	<b>4</b>	<b>ひろお子育て力向上プロジェクト ～地域のみんながお父さん、お母さん～</b>
<b>担当課</b>	保健福祉課子育て支援室	
<b>目 標</b>	日本で一番、安心して子どもを育てられるまちをめざす！	

#### 1. 方向性

隣近所や町内会の結びつきを強くし、地域ぐるみで子育てを支える体制を整えるとともに、遊ぶ場所の整備や保育サービスの充実などにより、安心して子育てできる環境をつくる。

#### 2. 概要

一人で子育ての悩みを抱え込んでいる人に対し、子育てOG・OBを活用した子育て支援ボランティアの組織を育成するなど、地域ぐるみで子育てを支える体制を整備する。また、要望の多い「子どもが安全にのびのび遊べる場所」の整備や保育サービスの充実を図り、子育て支援のさらなる充実を図る。

#### 3. 具体的な方法

主な事業・取組	支援を行うボランティアなどの人材を確保し、組織化したうえで、子どもの預かりを希望する人との連絡調整を行う「ファミリー・サポート・センター」を導入する。	R3(2021)年度実績額	38千円		
細事業名Ⅰ	ひろお子育て力向上プロジェクト	実	重点-5	担当課	保健福祉課子育て支援室
	(ファミリー・サポート・センター導入事業)	実	2-1-①-3	担当課	
		実		担当課	
		実		担当課	
R3(2021)年度実施内容	令和4年度事業開始に向けて制度周知とサポート会員の募集を町広報等で行い、サポート会員向けの救命講習及び講話を開催した。				
進捗状況と課題	令和4年度に事業を開始したが、サポート会員の確保に課題がある。引き続き制度周知及び会員の募集を行い、事業の定着を図る。【児童係】				

主な事業・取組	居住状況に応じた子どもの遊び場(屋外、室内)の整備を推進する。	R3(2021)年度実績額	0千円		
細事業名Ⅰ		実		担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R3(2021)年度実施内容	まちづくり町民みらい会議のテーマを「みんなが楽しめる新しい公園づくり」とし、公園の機能や役割などについて町民からアイデア、意見を広く聞き取った。				
進捗状況と課題	令和3年度に着手した公園整備構想において、子どもたちが安心してのびのび遊べる公園の機能やレイアウトについて町民の意見を取り入れながら検討している。公園敷地内に観光交流施設を併設する方向性となり、同構想の中で室内の遊び場についても検討中である。【企画防災係】				

主な事業・取組	病児保育や延長保育など保育サービスの充実を図る。		R3(2021)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課	保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実	担当課	
細事業名Ⅲ		実	担当課	
R3(2021)年度実施内容	※未実施			
進捗状況と課題	多様な保育ニーズに応えるため、保育士や支援員等の人材を確保したうえで、保育サービスの充実について検討していく。【児童係】			

主な事業・取組	「出産祝い金制度」を創設する。		R3(2021)年度実績額	1,150千円
細事業名Ⅰ	出産祝い金支給事業	実	2-1-①-2	担当課 保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ		実		担当課
細事業名Ⅲ		実		担当課
R3(2021)年度実施内容	出生した子と生計を同じくする保護者へ祝い金を支給し、子育て家庭の支援を図った。			
進捗状況と課題	子どもの誕生を祝うとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられるよう、子育て家庭の支援が図られた。【児童係】			

主な事業・取組	子育て世代包括支援センターの充実を図る。		R3(2021)年度実績額	10,615千円
細事業名Ⅰ	保健師等専門職の配置	実	—	担当課 保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅱ	養育支援訪問事業	実	—	担当課 保健福祉課子育て支援室
細事業名Ⅲ		実		担当課
R3(2021)年度実施内容	令和2年度開設。保健師等専門職を9人、事務職を1人兼務配置。 令和3年度に保健師を専任で1人配置。あわせて児童の養育について支援が必要であると認められる保護者に対し、相談、助言等による支援を行う養育支援訪問事業に家事援助を新たに追加した。			
進捗状況と課題	平成28年児童福祉法の改正により、市区町村は子ども家庭総合支援拠点の設置に努めることとされた。現在設置に向けて検討中。さらに令和6年4月からは子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を一体化させた子ども家庭センターの設置が努力義務化される。【子ども福祉係】			

#### 4. プロジェクトの評価（担当課における評価）

##### I：プロジェクトの達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

	A 想定以上に進んでいる	評価理由	保育サービスの充実を図るための人材確保がまだまだできていないが、それ以外の事業については、取組が進んでいると評価する。（子育て支援室長）
○	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

##### II：プロジェクトの有効性（プロジェクトにかかる事業の構成や規模は適切であったか、成果は有効であったか）

	A 有効であった	評価理由	事業の内容について、広尾町が今の人材等で行える範囲での構成や規模とされますので、適切であったと評価する。（子育て支援室長）
○	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※プロジェクトの達成度、有効性の評価理由は、プロジェクト全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

5. プロジェクトの総合評価

ひろ 向上 重点 P④ 子育て 力	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	B				
	二次評価（主管者会議の評価）				
	B				
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
B					

評価の区分

- A 達成度、有効性、成果が大いに認められ、目標達成に向け順調に進んでいる。
- B 事業が概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- C 結果が表れていないが、目標達成に向け取組を進めることができている。
- D 事業の進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- E 達成度、有効性が見られず、取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

## 第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7）

### 重点プロジェクト 進捗状況確認シート

作成年月 | R 4 年 11 月

<b>重点P</b>	<b>5</b>	<b>自分大好きプロジェクト ～関わり、交わり、認めて、育てる 地域の宝～</b>
<b>担当課</b>	<b>教育委員会管理課、社会教育課</b>	
<b>目 標</b>	<b>日本で一番、子どもが自分を好きになれるまちをめざす！</b>	

#### 1. 方向性

幼児期から自己肯定感を高め、小・中・高校では自己実現、進路実現に向けた取組を行い、人格形成の基礎を養う。これらの取組を地域で支えることでまち全体の生涯学習の推進につなげる。

#### 2. 概要

子どもたちが自分の価値や存在意義を肯定し、夢や希望あふれる未来に向かうよう、学校・家庭・地域が「目指す子ども像」を共有し、実現に向け連携した取組を行う。学校では、個人の資質、能力（学力）の向上に努め、家庭では積極的に子どものよさを認める環境づくりを実践する。また、地域では行事等で子どもと交流を図りやすい環境づくりを進めるなど、まち全体で子どもたちに温かい眼差しを向ける。

#### 3. 具体的な方法

主な事業・取組	各小中学校の学校運営協議会により、保護者や地域住民等の学校経営への参画や学校運営への支援・協力を促進する。	R3(2021)年度実績額	542千円
細事業名Ⅰ	学校運営協議会運営事業	実	—
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R3(2021)年度実施内容	学校運営協議会を各学校年4回開催し、町民の力を結集し、地域一体としたより良い学校づくりを推進する事業。		
進捗状況と課題	新型コロナウイルスの感染状況を見て、コロナ禍前の開催方法等へ順次移行を考えている。【学校教育係】		

主な事業・取組	「広尾っ子応援団」による応援メッセージ事業や放課後読書等ふれあい広場の実施により、児童生徒の自己肯定感を育むとともに、放課後の安全安心な居場所を提供する。	R3(2021)年度実績額	5,022千円
細事業名Ⅰ	広尾っ子応援団事業	実	3-1-②-1
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R3(2021)年度実施内容	CSコーディネーター1名配置、応援メッセージ活動（メッセージ18通、発信12回）、放課後読書等ふれあい広場（58回実施）		
進捗状況と課題	取組は定着してきたが、応援メッセージがより増えるよう認知度の向上に努めていきたい。【社会教育課】		

#### 4. プロジェクトの評価（担当課における評価）

I：プロジェクトの達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

	A 想定以上に進んでいる	評価理由	学校運営評議会を各学校年4回開催しており想定どおりの進捗である。新型コロナウイルスの感染状況を見て、コロナ禍前の開催方法等へ順次移行を考えている。(管理課長・社会教育課長)
○	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：プロジェクトの有効性（プロジェクトにかかる事業の構成や規模は適切であったか、成果は有効であったか）

	A 有効であった	評価理由	学校運営協議会を各学校年4回開催し、保護者や地域住民等から学校経営への参画や学校運営への支援・協力を得ることができた。(管理課長・社会教育課長)
○	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※プロジェクトの達成度、有効性の評価理由は、プロジェクト全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

#### 5. プロジェクトの総合評価

自分 重点 大好き P⑤	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	一次評価（担当課の評価）					
	B					
	二次評価（主管者会議の評価）					
	B					
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
B						

#### 評価の区分

- A 達成度、有効性、成果が大いに認められ、目標達成に向け順調に進んでいる。
- B 事業が概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- C 結果が表れていないが、目標達成に向け取組を進めることができている。
- D 事業の進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- E 達成度、有効性が見られず、取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

付帯 意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

## 第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7）

### 重点プロジェクト 進捗状況確認シート

作成年月 R 4 年 11 月

<b>重点P</b>	<b>6</b>	<b>「賑わいと健康」創出プロジェクト ～豊かな自然の中で、健康増進と体験型観光を楽しむ～</b>
<b>担当課</b>	<b>水産商工観光課、企画課、健康管理センター、農林課、教育委員会社会教育課</b>	
<b>目標</b>	<b>日本で一番、田舎を楽しむまちをめざす！</b>	

#### 1. 方向性

自然など地域資源を生かした体験型観光を創出するとともに、身近な自然を生かした町民の健康づくりを推進する。

#### 2. 概要

自然など地域資源を活かした体験メニュー（例：サーフィン、農山漁村体験、潮干狩り、地引き網、釣り、鹿撃ち、山菜採りなど）を開発し、町外から訪れる方々に体験型観光を楽しんでいただくとともに、身近な自然を生かした健康づくり活動（ウォーキング、ゴミ拾い、自然ガイド、農山漁村体験など）を行い、豊かな自然環境を生かしたまちの賑わいの創出と、町民が楽しみながら健康増進を図る取組を推進する。

#### 3. 具体的な方法

主な事業・取組	主に町外の人を対象とした体験型観光の体験メニュー（例：サーフィン、農山漁村体験、潮干狩り、地引き網、釣り、山菜採り、鹿撃ちくジビエなど）を開発する。	R3(2021)年度実績額	57千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	集いの杜プロジェクト	実	1-1-③-41
細事業名Ⅲ	移住体験住宅貸付事業(体験メニュー提供分)	実	5-2-②-12
細事業名Ⅳ	広尾町活き生きプロジェクト交付金(体験メニュー提供分)	実	5-2-②-17
R3(2021)年度実施内容	(Ⅰ)ピロロツーリズム推進協議会が持っている一次産業を題材とした体験型観光プログラムを実用化させるため、R4年度から地域おこし協力隊を任用する準備を行った。 (Ⅱ)旧野塚小学校を再生し、広尾町の林業を主体とした一次産業の体験や自然とふれあうことができる場を創出する。また、サンタランドウッドのPRや製品製造の拠点とし、新たな産業や教育文化の振興を図る。 (Ⅲ・Ⅳ)移住体験住宅利用者やふるさとワーキングホリデー参加者などに対し、体験メニューを提供し、利用を促した。		
進捗状況と課題	(Ⅰ)ピロロツーリズム推進協議会による体験型観光をツアー化し、協議会が自走化できるよう地域おこし協力隊の制度を活用しながらサポートしていく必要がある。【水産商工観光係】 (Ⅱ)令和3年度計画策定。令和4～5年度で予算化及び改修工事の実施。プロジェクトにかかる地域おこし協力隊を3名任用する(令和3年度は1名任用)。【農政林務係】 (Ⅲ・Ⅳ)新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため少数ではあるが、町外から来町する長期滞在者に対し様々な体験メニューを提供することができた。今後は、体験型観光を推進する「ピロロツーリズム推進協議会」との連携を深め、まち全体の体験型観光の充実を図り、利用者の満足度を高める必要がある。【企画防災係】		

主な事業・取組	主に町民を対象とした健康づくり事業(例：ウォーキング、サイクリング、ゴミ拾い、自然ガイド、農山漁村体験など)を企画して実施する。	R3(2021)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	健康管理センター
細事業名Ⅱ	実	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ	実	担当課	
R3(2021)年度実施内容	(Ⅰ)未実施 (Ⅱ)現在、体験型観光は町民向けイベントとして確立されていない。		
進捗状況と課題	(Ⅰ)令和4年度は健康推進部連絡会との共催により、健康づくり事業の企画を予定している。【保健推進係】 (Ⅱ)酪農体験や昆布干し体験など、既存のコンテンツを町民向けツアーなどにプログラム化し、今後は健康づくりの一環事業として検討していく。【商工観光係】		

#### 4. プロジェクトの評価（担当課における評価）

I：プロジェクトの達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

商 企 農	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピロツーツーリズム推進協議会が進める体験型観光における地域おこし協力隊の任用に向け、準備を整えた。（水産商工観光課長）</li> <li>・地域おこし協力隊を中心とした各課及び関係機関の連携により、想定通りに進んでいると評価できる。（農林課長）</li> <li>・アフターコロナを見据え、官民連携により様々な取組の種がまかれており、着実に進んでいると評価できる。（企画課長）</li> </ul>
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：プロジェクトの有効性（プロジェクトにかかる事業の構成や規模は適切であったか、成果は有効であったか）

企 商	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度における体験型観光はプログラムとして確立されていない状況にあり、有効性があまりあったとはいえない。（水産商工観光課長）</li> <li>・「集いの杜プロジェクト」について令和3年度は計画策定の段階であり、評価は不可能。（農林課長）</li> <li>・広尾町の魅力や特色を生かした体験メニューを提供しており、長期滞在者に対するアピールが有効的である。（企画課長）</li> </ul>
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※プロジェクトの達成度、有効性の評価理由は、プロジェクト全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

#### 5. プロジェクトの総合評価

「販 わ重 創 い点 出 とP 健 ⑥ 康」	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C				
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C				
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C					

#### 評価の区分

- A 達成度、有効性、成果が大いに認められ、目標達成に向け順調に進んでいる。
- B 事業が概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- C 結果が表れていないが、目標達成に向け取組を進めることができている。
- D 事業の進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- E 達成度、有効性が見られず、取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

## 第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7）

### 重点プロジェクト 進捗状況確認シート

作成年月 | R 4 年 11 月

<b>重点P</b>	<b>7</b>	<b>買い物利便性向上プロジェクト ～誰もが町内で買い物しやすい環境をつくる～</b>
<b>担当課</b>	<b>保健福祉課、企画課、水産商工観光課</b>	
<b>目 標</b>	<b>日本で一番、町民が買い物に困らないまちをめざす！</b>	

#### 1. 方向性

町民が地域内で買い物しやすい環境を整えるとともに、町内小売店のサービスや商品（以下、「商品等」）の魅力を高め、情報発信を充実させることにより、地域内消費を喚起する。

#### 2. 概要

広尾ならではの商品等に磨きをかけ、その魅力を高めるとともに、公共交通の利便性を向上させながら、宅配サービスや買い物代行サービス、移動販売など買い物支援サービスの導入や情報発信の充実を図り、町民の買い物の利便性を総合的に高める。

#### 3. 具体的な方法

主な事業・取組	外部人材の意見を取り入れ、町内小売店の商品等の魅力向上（既存の商品の質の向上、パッケージの改善、新商品の開発など）に取り組む。	R3(2021)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	起業家育成支援事業	実	1-2-③-29
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R3(2021)年度実施内容	(Ⅰ)実績なし。		
進捗状況と課題	(Ⅰ)起業家等支援事業の新商品開発にかかる助成の活用を促進していく必要がある。【商工観光係】		

主な事業・取組	インターネットの活用や、合同チラシの発行、「宅配便利帳」の配布など、あらゆる方法を駆使して町内の買い物情報の充実を図る。	R3(2021)年度実績額	6,933千円
細事業名Ⅰ		実	
細事業名Ⅱ	生活支援体制整備事業(地域支援事業)	実	②-①-23
細事業名Ⅲ		実	
R3(2021)年度実施内容	(Ⅰ)インターネットや合同チラシなどの取組は行われていない。 (Ⅱ)広報に掲載し「宅配便利帳」の活用促進を図った。また、町内商店(55店舗)とボランティア団体による独居高齢者宅訪問(112名)で「宅配便利帳」の活用状況に関するアンケート調査を行った。		
進捗状況と課題	(Ⅰ)令和4年度より取り組む求人情報の一元化チラシなどを活用し、今後町内商店の情報発信について検討していく。【商工観光係】 (Ⅱ)商店からは、わずかだが宅配は増えたとの意見が出ていた。また、積極的に活用してもらえるよう、さらなる周知をしてほしいという声があがっていた。独居高齢者への調査結果でも、便利帳の所持率66.1%のうち、利用率が14.3%という結果であったことから、今後の活用促進の取組が必要である。【在宅支援係】		

主な事業・取組	宅配サービスの拡大に加え、買い物代行サービスや移動販売・キッチンカーの導入を検討するなど、複合的な買い物支援サービスを展開する。	R3(2021)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	実	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	実	担当課	企画課
細事業名Ⅲ	実	担当課	
R3(2021)年度実施内容	宅配便利帳で町内の宅配サービスを行っている商店等を紹介し、利用を促した。また、広尾町内でコープさっぽろによる移動販売車が運行されている。		
進捗状況と課題	買い物代行や宅配サービスについて、先進事例等を参考に公共交通やドローンなどICT技術の活用も含めて検討していく必要がある。町内事業者の移動販売の実施はコスト面等から難しい状況にある。【企画防災係】		

主な事業・取組	高齢者が買い物に気軽に利用できるよう、地域内を循環する公共交通を抜本的に見直す。	R3(2021)年度実績額	1,002千円
細事業名Ⅰ	十勝地域公共交通活性化協議会	実	-
細事業名Ⅱ	広尾線バス輸送確保対策協議会	実	4-2-①-18
細事業名Ⅲ	高齢者外出支援交通費助成事業	実	-
R3(2021)年度実施内容	(Ⅰ)、(Ⅱ)管内市町村や交通・商業・観光関連団体で組織された十勝地域公共交通活性化協議会に参画し、地域公共交通の現状把握や利用促進に関する調査に努めたほか、広尾線の沿線市町村で組織する協議会においては、冬のアンケート調査を実施し、広尾線の利用実態や利用ニーズの把握に努めた。 (Ⅲ)令和5年度本格事業実施に向け、2か月間の実証事業を実施。75歳以上で運転免許を所持しない方を対象に申請者に対し、バス・タクシーで利用できる助成券を配布。また利用者、未利用者に対しアンケート調査を実施。		
進捗状況と課題	(Ⅰ)、(Ⅱ)広尾線は沿線市町村の負担軽減に向けた減便をめざすこととなり、各種アンケート結果等を踏まえて令和3年度にかけて協議を重ねる見込みである。地域内循環交通については、前期の期間内に町民を巻き込んだ検討組織を立ち上げ、持続可能な地域内公共交通のあり方を模索する予定である。【企画防災係】 (Ⅲ)令和3年度は利用率が2割程度であったため、令和4年度は運転免許所持の要件を撤廃し、75歳以上の高齢者を対象に3か月間実証事業を実施する。【福祉係】		

#### 4. プロジェクトの評価（担当課における評価）

I：プロジェクトの達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

商 福	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部事業化されているものもあるが、実績となっていない。(水産商工観光課長)</li> <li>十勝バス広尾線に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響でアンケートの実施が先送りとなり、取組が若干遅れ気味である。(企画課長)</li> <li>高齢者外出支援交通費助成事業について、令和4年度から本格事業実施予定であったが、利用者が少なかったため令和4年度に2回目の実証事業を実施し令和5年度本格事業実施という点で、予定よりは遅れてしまった。(保健福祉課長)</li> <li>高齢者の交通手段の課題に対して、助成券の交付や宅配便利帳を配布する等一定の成果は見られた。(地域包括支援センター長)</li> </ul>
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：プロジェクトの有効性（プロジェクトにかかる事業の構成や規模は適切であったか、成果は有効であったか）

商 福 企	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の見直しは実証実験されているところであり、実用化に期待する。(水産商工観光課長)</li> <li>高齢化の進行とともに買い物利便性向上のニーズは高まっているが、公共交通の面では、現時点において現状把握やニーズ把握に留まり、利便性向上に繋がる取組には至っていない。(企画課長)</li> <li>検討委員会で事業内容について検討を重ね、令和3年度に実施したアンケート調査でも一定の評価を得ているので、令和4年度の実証事業を経て令和5年度に本格事業実施を目指す。(保健福祉課長)</li> <li>宅配便利帳に関しては、活用状況を確認中であり活用に向けて周知を継続する必要がある。(地域包括支援センター長)</li> </ul>
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※プロジェクトの達成度、有効性の評価理由は、プロジェクト全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

5. プロジェクトの総合評価

買 い 重 点 向 物 点 上 利 便 性 ⑦	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C				
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C				
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C					

評価の区分

- A 達成度、有効性、成果が大いに認められ、目標達成に向け順調に進んでいる。
- B 事業が概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- C 結果が表れていないが、目標達成に向け取組を進めることができている。
- D 事業の進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- E 達成度、有効性が見られず、取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

## 第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7）

### 重点プロジェクト 進捗状況確認シート

作成年月 | R 4 年 11 月

<b>重点P</b>	<b>8</b>	<b>空き家再生プロジェクト ～空き家を徹底的に活用し、人が集まる場をつくる～</b>
<b>担当課</b>	<b>企画課、住民課、水産商工観光課、保健福祉課</b>	
<b>目 標</b>	<b>日本で一番、空き家を活用できるまちをめざす！</b>	

#### 1. 方向性

町内に点在する空き家や空き店舗を様々な用途で再利用し、人が集まり交流する拠点づくりと空き家等の有効活用を図る。

#### 2. 概要

町内の空き家や空き店舗の増加が課題となっていることから、利用可能な空き家等をリフォームし、町外の人向けの拠点施設（ミニ道の駅、サーファーの拠点、畑付き住宅など）や、町民向けの拠点施設（飲食店、趣味の集まり、サロンなど）として有効活用することで、交流人口の増加と、町民の交流の機会の充実を図る。

#### 3. 具体的な方法

主な事業・取組	空き家をリフォームし、ミニ道の駅(トイレを完備し、特産品を少し販売する)、サーファーの休憩所、畑付き住宅などの用途で、町外の人向けの拠点施設として利用する。	R3(2021)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	集いの杜プロジェクト	実	1-1-③-41
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R3(2021)年度実施内容	(Ⅰ)旧野塚小学校を再生し、広尾町の林業を主体とした一次産業の体験や自然とふれあうことができる場を創出する。また、サンタランドウッドのPRや製品製造の拠点とし、新たな産業や教育文化の振興を図る。		
進捗状況と課題	(Ⅰ)令和3年度計画策定。令和4～5年度で予算化及び改修工事の実施。プロジェクトにかかる地域おこし協力隊を3名任用する(令和3年度は1名任用)。【農政林務係】 (Ⅱ)地域おこし協力隊による「集いの杜プロジェクト」が始動し、旧野塚小学校を町内外の人が集う拠点として整備する取組が進められており、この取組をモデルケースとし、空き家の活用方策についても関係機関と連携し、取組を進める必要がある。【企画防災係】		

主な事業・取組	週末だけの飲食店、趣味の集まり、サロンなどの用途で、町民向けの拠点施設として利用する。	R3(2021)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	
細事業名Ⅱ		実	
細事業名Ⅲ		実	
R3(2021)年度実施内容	※未実施		
進捗状況と課題	(Ⅰ)地域おこし協力隊による「集いの杜プロジェクト」が始動し、旧野塚小学校を町内外の人が集う拠点として整備する取組が進められており、この取組をモデルケースとし、空き家の活用方策についても関係機関と連携し、取組を進める必要がある。【企画防災係】 (Ⅱ)空家を活用したコワーキングスペースやサロンなど、令和4年度以降に商工担当の地域おこし協力隊と連携しながら検討していく。【商工観光係】		

#### 4. プロジェクトの評価（担当課における評価）

I：プロジェクトの達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校舎を活用した取組は進捗が見られるが、空き家を活用した取組は未着手である。（企画課長）</li> <li>・地域おこし協力隊を中心とした各課及び関係機関の連携により、想定通りに進んでいると評価できる。（農林課長）</li> <li>・空家に対する取組はまだ活発化していない。（水産商工観光課長）</li> </ul>
農	B 想定どおりに進んでいる		
商企	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：プロジェクトの有効性（プロジェクトにかかる事業の構成や規模は適切であったか、成果は有効であったか）

	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト未着手により、現時点で有効性の評価は不可能である。（企画課長）</li> <li>・令和3年度は計画策定の段階であり、評価は不可能。（農林課長）</li> <li>・令和3年度の評価は不可能。（水産商工観光課長）</li> </ul>
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※プロジェクトの達成度、有効性の評価理由は、プロジェクト全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

#### 5. プロジェクトの総合評価

空き家再生 重点P⑧	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	一次評価（担当課の評価）					
	C					
	二次評価（主管者会議の評価）					
	C					
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
	C					

#### 評価の区分

- A 達成度、有効性、成果が大いに認められ、目標達成に向け順調に進んでいる。
- B 事業が概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- C 結果が表れていないが、目標達成に向け取組を進めることができている。
- D 事業の進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- E 達成度、有効性が見られず、取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		